

都 9 1 びまん性汎細気管支炎

下記①、②、③満たすもののうち、マクロライド療法など疾患特異的治療を要するもの。
胸部X線画像（単純X線、及びCTの両方）の添付を要す

① 必須項目（下記①～③のすべてを満たすもの）

- ① 臨床症状：湿性咳嗽、膿性痰、労作時息切れ（全項目を満たす場合を陽性とする。）
- ② 慢性副鼻腔炎の合併又は既往（X線を確認する。）
- ③ 胸部画像所見：胸部X線所見で両肺のびまん性撒布性粒状陰影又は胸部CT所見で両肺のびまん性小葉中心性粒状病変（しばしば過膨張所見を伴う。進行すると両下肺野に気管支拡張所見が見られ、時に巣状肺炎を伴う。）

② 参考項目（下記①～③のいずれか2項目以上を満たすもの）

- ① 胸部聴診所見：断続性ラ音（多くは水泡音、時に連続性ラ音又はスクウオークを伴う。）
- ② 呼吸機能検査1秒率 70% 以下及び低酸素血症 80Torr 以下
進行すると肺活量減少、残気量（率）増加を伴うが、肺拡散能力の低下は見られない。
- ③ 寒冷凝集素価高値（ヒト赤血球凝集法で64倍以上）

③ 以下の鑑別診断が除外できるもの

慢性気管支炎、気管支拡張症、線毛不動症候群、閉塞性細気管支炎、嚢胞性線維症など